

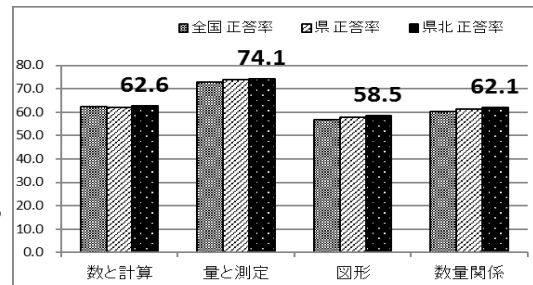
算数（小学校）

〔算数 A〕

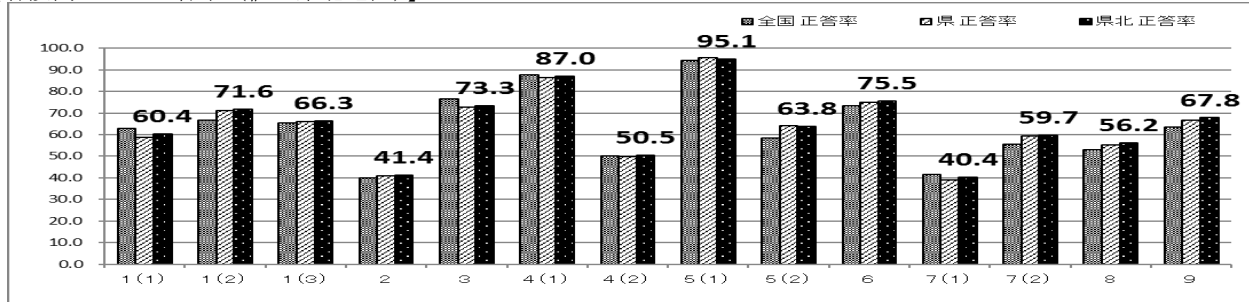
正答率	H30	全国比
県北	65	+1.5
県	64	+0.5
全国	63.5	

全国平均を1.3ポイント上回った。領域別ではどの領域も全国平均を上回ったが、県平均と同程度である。

※ 領域別の正答率（値は県北地区）



【各設問ごとの正答率（値は県北地区）】



【結果】（課題として挙げた問題は、正答率の低い問題や過去に課題とされていた問題である。）

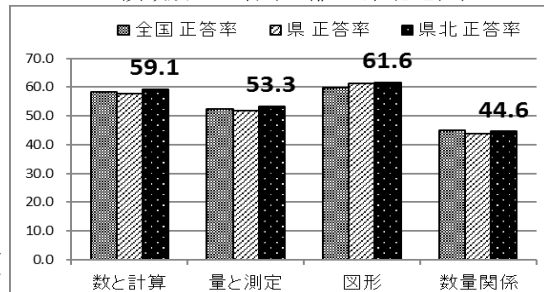
- 180°の角を理解している[5](1)
- 空間の中の位置の表し方について理解している[6]
- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができている[9]
- 0.4mの針金の重さをもとにして、割合や比例の考えから値を求めることに課題がある。1
- 12÷0.8の式になる問題を選ぶことができていない。[2]
- 円周率の意味や、円周率を求めることについて十分理解できていない。[7](1)

〔算数 B〕

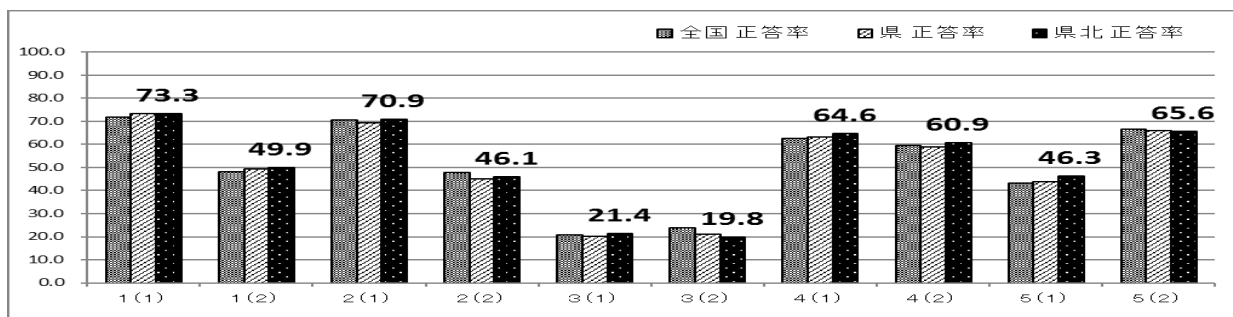
正答率	H30	全国比
県北	52	+0.5
県	51	-0.5
全国	51.5	

県北域内は全国平均を上回っており、昨年度の全国比からも、向上が見られた。領域別では数量関係の領域では全国平均を0.5ポイント下回ったが、他の領域は全国平均と同程度である。

※ 領域別の正答率（値は県北地区）



【各設問ごとの正答率（値は県北地区）】



【結果】（課題として挙げた問題は、正答率の低い問題や過去に課題とされていた問題である。）

- 合同な正三角形の敷き詰めから、条件に合う図形を見つけることがおおむねできている。1
- 玉入れゲームの問題で、与えられた情報から時間を求めることができています。[2](1)
- かけ算九九表から見いだされる性質について、条件を変えて考えることができています。[4](1)
- 示された考えを解釈し、他の時間の場合に適用し表に整理することが十分ではない。2
- 帯グラフを読み取り、対応するメモが示すことを、記述することや、帯グラフとの関連を読み取り理由を記述することが十分でない。[3](1)(2)